



やさしさとふれあいの西東京に暮らし まちを楽しむ

西東京

主な内容

- 総合計画事業の主な取組… 2
- 18歳から投票できるようになります… 4
- いこいーな西東京ナビに新コンテンツ… 8
- 西東京市民文化祭(募集・総会)… 8
- 対話による美術鑑賞(募集・体験会)… 8

No.380
平成28年(2016)
4/15

市役所代表 電話042-464-1311 (平日午前8時30分～午後5時)
発行/西東京市
編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 西東京市南町5-6-13
配布/シルバー人材センター 電話042-425-6611

詳細はホームページで [西東京市Web](http://www.city.nishitokyo.lg.jp/) 検索
市ホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>
携帯電話から <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



平成28年度予算が成立しました!

平成28年度予算は、引き続き厳しい財政状況の中でも、待機児童対策の充実、市民の健康づくりの推進、教育環境の充実など、これからのまちづくりに対応していくための予算として編成しました。
※各予算額は原則として表示単位未満を四捨五入していますので、合計と一致しない場合があります。

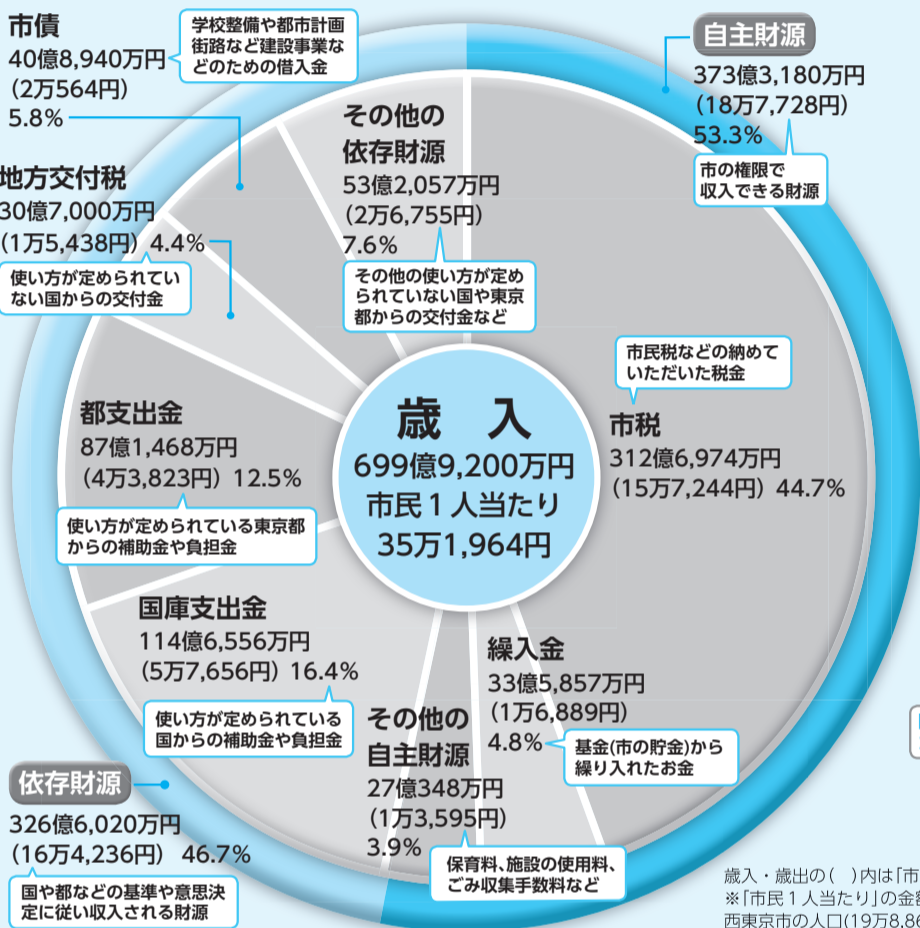
◆財政課 電話(042-460-9802)

詳細は、情報公開コーナー(両庁舎1階)・市HPにある「平成28年度予算の概要」をご覧ください。



一般会計 699億9,200万円
(前年度比 62億7,900万円・8.2%減)
特別会計 461億5,867万円
(前年度比 12億6,976万円・2.8%増)
合計 1,161億5,067万円
(前年度比 50億924万円・4.1%減)

一般会計



歳入・歳出の()内は「市民1人当たり」の金額です。
※「市民1人当たり」の金額は、平成28年3月1日現在の西東京市の人口(19万8,861人)で計算しています。

平成26年度からご負担いただく税が増えています。その内容と増えた分の使い道は次のとおりです。

【個人市民税均等割】

増えた分：納税者1人当たり年額500円
(平成26～35年度)
⇒平成28年度歳入予算のうち
4,787万円



使い道：消火栓の新設・移設や避難施設特設公衆電話の整備などの防災・災害対策のために

【地方消費税交付金】

増えた分：消費税5%→8%になったこと
による地方への交付金
⇒平成28年度歳入予算のうち
19億6,700万円



使い道：待機児童対策や介護保険などの社会保障のために

特別会計

区分	平成28年度予算額	増減率
特別会計	461億5,867万円	2.8%
国民健康保険特別会計	229億3,607万円	1.3%
下水道事業特別会計	33億6,758万円	△1.5%
駐車場事業特別会計	1億3,205万円	7.3%
介護保険特別会計	154億7,695万円	6.8%
後期高齢者医療特別会計	42億4,602万円	0.5%

2面の「総合計画事業」で、さらに市の取組が分かります!



平成28年度の目玉事業はコレだ!

共通

- 「いこいーな」を活用した地域振興および地域の魅力発信事業の推進(市民サポーター(中学生以下)の募集/LINEスタンプの活用拡大/ランドセルカバー/健康手帳の配布など)

総務費

- 市政モニター制度の実施
- 伝統文化等継承事業補助金
- 地域コミュニティ推進事業の実施(南部地域協力ネットワークの支援)

民生費

- (仮称)在宅療養支援窓口の開設
- 知的障害者対象の地域活動支援センター設置
- ひとり親家庭就業支援専門員の配置
- サマー子ども教室の試行実施

衛生費

- 妊娠期からの切れ目のない支援事業
- 地球温暖化対策事業の新たな助成の実施

農林費

- 「めぐみちゃんメニュー」による地産地消の推進
- 女性の働き方サポート推進事業

土木費

- ひばりヶ丘駅周辺まちづくりの推進
- はなバス第2、第4北・南ルートの運行

消防費

- 災害時の相互協力体制の充実
- 緊急物資の充実、防災備蓄倉庫の充実
- 避難施設特設公衆電話の整備

教育費

- 小学校通学路への防犯カメラ設置
- いじめ防止に関する総合対策
- スポーツ振興事業の実施(オリンピック・パラリンピックの気運醸成および障害者スポーツの普及啓発)
- 下野谷遺跡の保存・活用事業の充実



西東京市長 丸山 浩一

新年度予算について

平成28年度は、第2次総合計画によるまちづくり3年目を迎えます。
新年度予算は、第4次行財政改革大綱に掲げるアクションプランの着実な推進などによる財源確保に最大限努めつつ、厳しい財政状況の認識の中でも、子育て・教育環境の充実、市民の健康づくりの支援、災害に強い快適なまちづくり、地域資源の活用や地域産業の活性化といった本市の重要課題に対応するための予算となっています。
主要な事業の内容は、一覧でお示ししているとおりでありますが、これらの取組により、「健康」応援都市の実現を目指してまいりますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。